

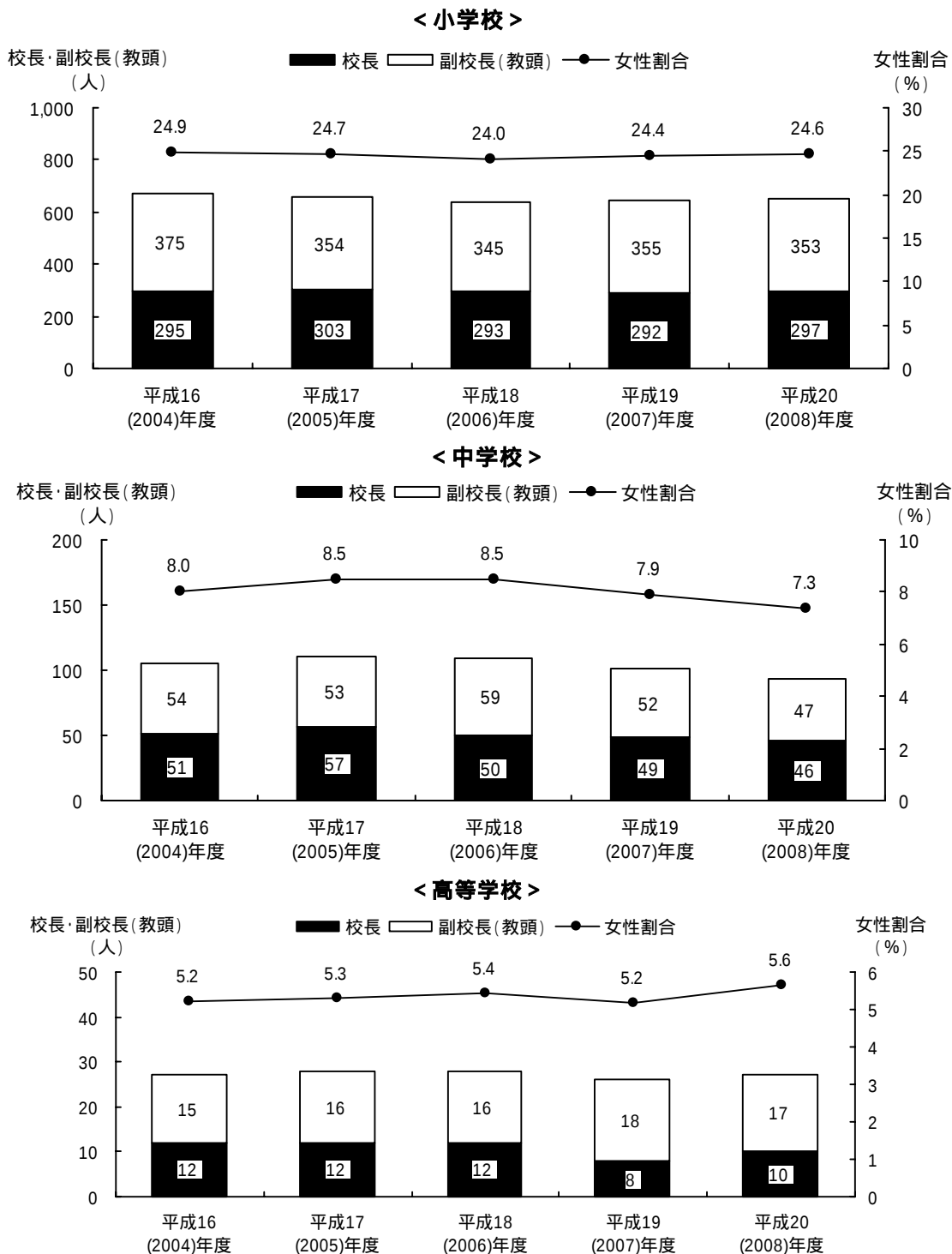
男女平等参画を推進する社会づくり

— 1 . 教育・学習

1 . 管理職（校長・副校長（教頭））に占める女性の割合

平成 20（2008）年度の都の校長・副校長（教頭）に占める女性の割合は、小学校が 24.6%、中学校が 7.3%、高等学校が 5.6%となっている。

図表 - 1 - 1 管理職（校長・副校長（教頭））に占める女性の割合（都）



注 1 : 各年 5 月 1 日現在

注 2 : 調査対象は公立の学校

注 3 : 学校教育法の改正により平成 20（2008）年度から教員数の「教頭」を「副校長」に変更した。

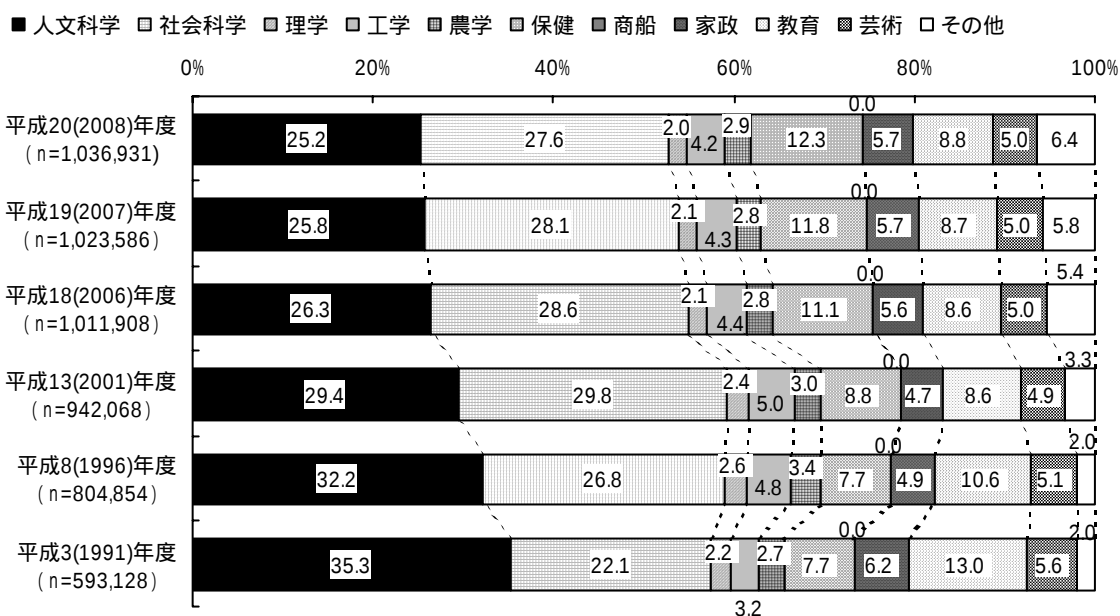
資料：東京都教育委員会「平成 20 年度公立学校統計調査報告書・学校調査編」

2. 大学生の学部別構成比

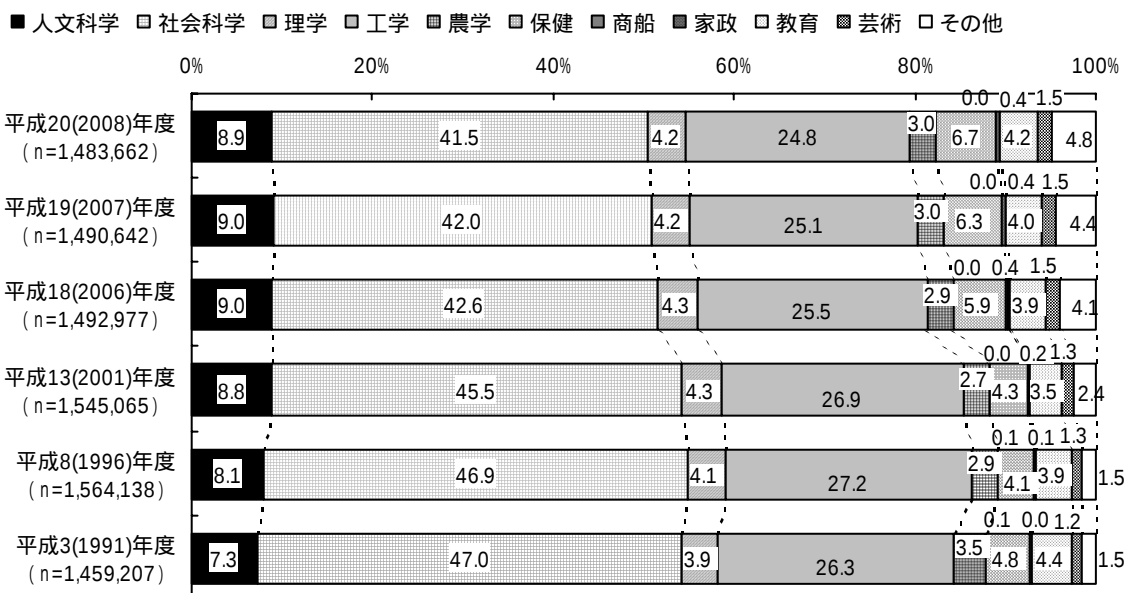
大学生の学部別構成比の推移をみると、女子学生では人文科学の割合が低下し、社会科学の割合が増加傾向にある。平成20(2008)年度は社会科学が27.6%と最も多くなっている。男子学生では社会科学の割合が減少傾向にある。

図表 - 1 - 2 大学生の学部別構成比(全国)

< 女子学生 >



< 男子学生 >



注1：学部学生を関係学科により分類

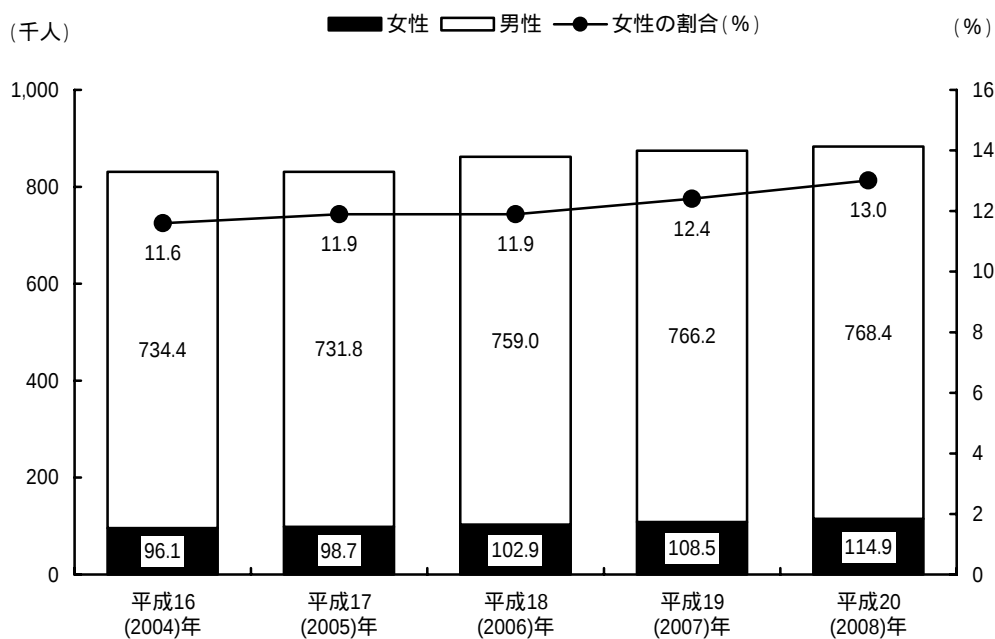
注2：各年度5月1日現在

資料：文部科学省「学校基本調査」

3. 研究者に占める女性の割合

平成 20 (2008) 年の企業等、非営利団体・公的機関、大学等における研究者に占める女性の割合は 13.0% であるが、わずかに増加傾向が見られる。

図表 - 1 - 3 研究者に占める女性の割合の推移(全国)



注 1 : 企業等、非営利団体・公的機関、大学等における研究関係従業者数(実数)のうち研究者の数。研究者とは大学(短期大学を除く。)の課程を修了した者(又はこれと同等以上の専門的知識を有する者)で、特定の研究テーマをもって研究を行っている者をいう。

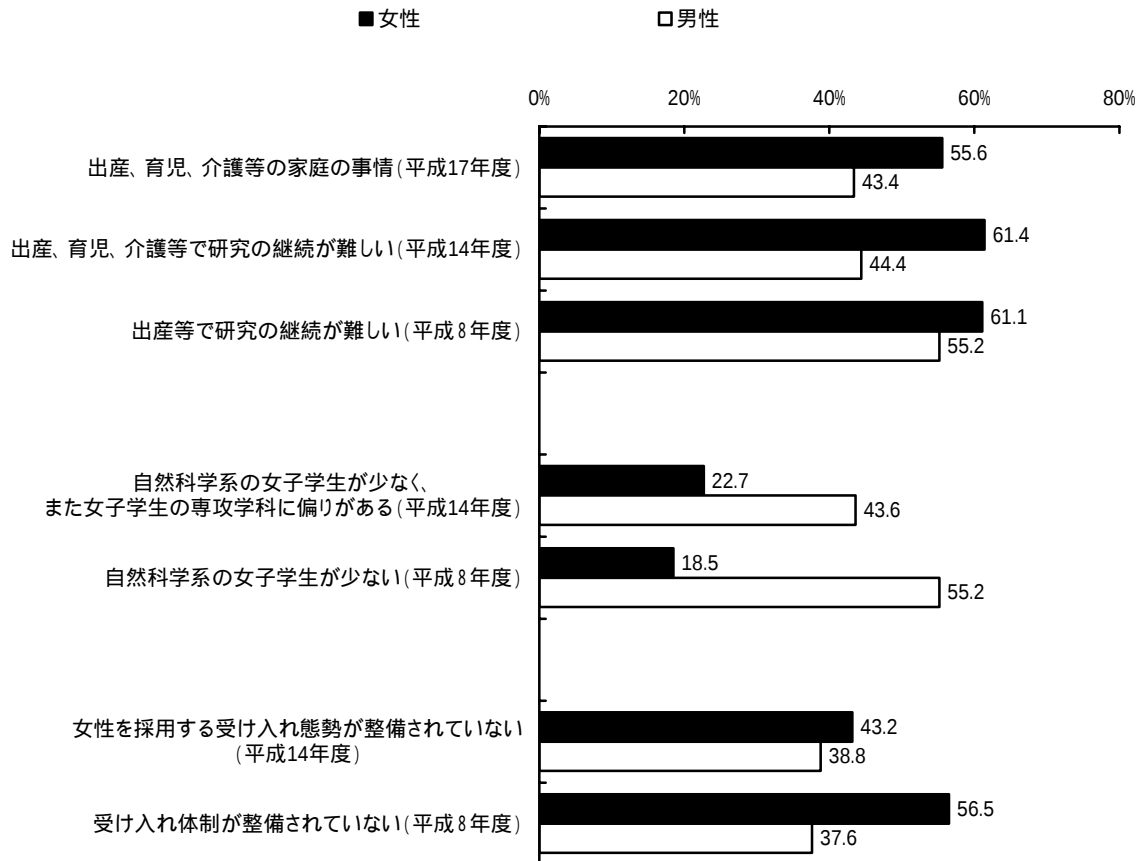
注 2 : 各年 3 月 31 日現在

資料 : 内閣府「平成 20 年版男女共同参画白書」、総務省「平成 20 年科学技術研究調査報告」

4. 女性研究者が少ない理由

女性研究者が少ない理由としては、「出産・育児・介護等で研究の継続が難しい」ことや、女性を採用する「受け入れ体制が整備されていない」ことなどが上位になっている。

図表 - 1 - 4 女性研究者が少ない理由(全国)



注：文部科学省「我が国の研究活動の実態に関する調査報告」より作成

資料：内閣府「平成20年版男女共同参画白書」